

ダーナ事業って何だ？

1970年～2020年

「ダーナ」は、インドで生まれた仏教の言葉です。「ダーナ」は、みかえりを求めない無私のほどこし（布施・喜捨・旦那）を意味します。昭和45（1970）年、本願寺は世界仏教婦人大会において、仏教の教えに照らされた念仏者が、社会に奉仕する行動をおこそうという目的で、本願寺ダーナ事業が始まりました。正定寺でもダーナ事業に取り組んで50年目を迎えました。ダーナ募金は、正定寺門徒のお見舞いにつかわれています。

【無財の七施】

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 眼施：げんせ | あたたかいまなざし |
| 2. 和顔悦色施：わけんえつじきせ | にこやかな表情 |
| 3. 言辞施：ごんじせ | やさしい言葉 |
| 4. 身施：しんせ | 精一杯のおこない |
| 5. 心施：しんせ | いつくしみ深いところ |
| 6. 床座施：しょうざせ | 人にあたたかい席を |
| 7. 房舎施：ぼうじゃせ | 気持ちよく迎える心がけ |

※ お金だけが布施ではありません。ささやかな気配り・おこないが、社会を明るく元気にします。

正定寺のダーナ事業 50周年

- 一、ながい間、病気やけがの療養をしている門徒へのお見舞い
◎お見舞い品：バスタオル
- 二、満九十才を迎えた方に長寿お祝い ◎記念品：門徒式章
- 三、還暦・古希・傘寿の方へのお祝い ◎お祝い寄席にご招待
- 四、火事お見舞い ◎お見舞い金
- 五、災害被災地への復興支援 ◎お見舞い義援金・支援物資復興ボランティア
- 六、国際連合児童基金（ユニセフ）への支援
・ 予防接種や医療・保健衛生への援助
・ 清潔な飲料水・栄養の確保と向上 ・ 教育の普及
・ 災害地・戦争難民への緊急援助
- 七、ペシャワール会・国境なき医師団への献金
- 八、寺並びに門徒地域の防災対策・災害時炊きだし支援（今後の課題）

■ ダーナ募金からご門徒の病気見舞いをしています。地域の皆様におしえていただかないと、いつ・だれが病気入院されたのか、お寺ではわかりません。ダーナ事業は、みんなですすめていきましょう。